

第三者評価結果の公表事項(児童養護施設)

①第三者評価機関名

社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

SK15226 ・ S24090

③施設の情報

名称：児童養護施設 あすなろ学園	種別：児童養護施設
代表者氏名：施設長 梶原 淳一	定員（利用人数）：50名（47名）
所在地：今治市中堀4丁目2番26号	
TEL：0898-41-9233	ホームページ： http://www.koinonia-as.or.jp/
【施設の概要】	
開設年月日 昭和31年6月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人コイノニア協会	
職員数	常勤職員：28名 非常勤職員：1名
専門職員	（専門職の名称）
	社会福祉士4名 保育士14名
	栄養士2名 看護師1名
	調理師2名 臨床心理士1名
施設・設備 の概要	（居室数） （設備等）
	居室23室（グループホーム4室含む）・地域交流多目的室・心理療 法室・プレールーム・医務室・静 養室・ショートステイ室・親子生 活訓練室・家庭支援相談室 等

④理念・基本方針

理 念：	喜ぶ人と共に喜び 泣く人と共に泣きなさい（ロマ書） 児童養護（養育）にあたる精神として、これを職員の基本姿勢とする。
五つのお祈り：	1 雨にも風にも負けないように 2 心を清くたもてますように 3 人々を愛せますように 4 平和をつくりだせますように 5 いつも感謝できますように 五つのお祈りで謳われている内容を児童養護（養育）の根本目標とし、児童を深く理解し、強い愛情を抱いて健康で明るく、美しい子どもを育てるため、生活指導を組立て、実践していくものとする。
基 本 方 針：	1 五つのお祈りの養護実践による児童の権利擁護に努める 2 自立支援を考慮した日常ケアの充実を図る 3 児童個々の個性の尊重の指導に努める 4 「子どもたちの作品展」開催や「あすなろ通信」の発行等を通じて施設機能の発信に努める 5 地域の関係機関との連携・協力のもと養育専門機関としての役割を果たす 6 福祉専門職としての自覚のもと絶えず研鑽し資質向上に努める

⑤施設の特徴的な取組

創造表現教育は特に注力している活動である。絵画・詩歌等の制作を通して、表出できない不安や悩み等の心の声を感じ取り寄り添うことで、日々の養育・支援に生かすように努めている。作品は施設の玄関に常設展示している。

NHK放送局アートギャラリーでの『子どもたちの作品展』開催や学園通信への掲載及び園主催のクリスマス会で発表し、施設の役割や生活の様子と子どもの心情等の理解を深めてもらう機会としている。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年1月5日（契約日）～ 平成29年3月13日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	3回（平成25年度）

⑦総評

◇特に評価の高い点

昭和31年6月に松山信望愛の家から25名を分園して設立。昭和34年に定員を50名に変更して現在に至っている。

虐待等で心に傷を受け手厚いケアを必要とする子どもに温かい生活環境を保障するため、平成18年度に小規模グループケア施設を開設した。平成25年度の本館新築に併せてユニット制を導入し入所児童の個別化・小規模化を進め、より家庭的な雰囲気の中で安心して生活ができる養育環境づくりに努める等社会的養護の推進に寄与している。

また、地域社会との交流や連携を大切に考え、地域の関係機関等の社会資源をリスト化して地元自治会・老人施設や学習支援ボランティア等を有効活用し、児童福祉の増進に努めている。

前回の第三者評価受審結果を受け、法人及び施設の理念・方針並びに中・長期計画の整合性をさらに整理し、それに基づく具体的な内容を明示した単年度の事業計画を策定したことは高く評価できる。

◇改善を求められる点

養育・支援に関する内容充実を図るため各種マニュアルを整備するよう、さらなる取組みに期待したい。

また、職員一人ひとりの目標を管理するなど、規程の策定等を含めた人材育成と専門性の向上に向けた取組みに期待したい。

さらに、養育機関としての専門性や施設機能の社会還元に向けた取組みに期待したい。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

評価調査者の方には、当園が取り組んでいる特色や支援の現状について丁寧に調査して頂きました。子ども達の支援だけでなく、職員の精神衛生を考えた体制整備や質の向上を目指した研修計画等にアドバイスを頂き、今後目指す具体的な目標も明確になりました。

今後は現状の養育機能をさらに向上させ、地域の福祉ニーズに基づいた子育て支援活動にも取り組みたいと思います。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

第三者評価結果（児童養護施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 41 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

共通評価基準（45 項目）

評価対象 I 養育・支援の基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 法人及び施設の理念・基本方針は、整合性をもって明文化され事業計画・広報誌・施設要覧・ホームページ等で公表している。法人及び施設内の研修会と全体処遇会議等で、職員全員に事業計画を配布・説明するとともに、子どもと保護者には入所時に資料の配布と説明で周知するように努めている。		

I-2 経営内状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 児童相談所や市要保護児童対策地域協議会に施設長と基幹的職員が出席して、市や地域の支援を要する子どもに関するニーズ等の情報を収集するように努めている。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 法人内施設の施設長と幹部職員が一堂に会する運営会議において、現状の報告や事業計画等について協議している。改善すべき問題点等は、役員間で情報を共有するとともに、法人の事業計画等を掲載した機関誌を発行している。 職員には、全体処遇会議で法人事業計画（収支予算書を含む）を配布・説明し周知している。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>中・長期計画と収支計画が策定されており、築後10年を迎えた小規模グループケア施設の外壁塗装費用等の計画が盛り込まれている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>中・長期計画で示された課題に関する具体的な計画が策定されるなど、単年度の計画が策定されている。前回の評価結果の改善に向けた取組みが単年度事業計画に盛り込まれている。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・b・c
<p><コメント></p> <p>ルーム会（各ルームの職員会）で集約した職員の意見や提案等を主任会で協議し、事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しに反映するように努めている。</p> <p>職員には、全体処遇会議で事業計画等を配布・説明し、理解が深まるように努めている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>子どもには小・中・高校生会で、保護者には家庭通信「絆」と保護者会・面会・電話連絡等の機会を利用して周知するように努めている。</p> <p>詳細についての周知は十分とは言えないので、容易に理解できる印刷物の準備と周知方法についての工夫を期待したい。</p>		

I-4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・Ⓑ・c
<p><コメント></p> <p>前回の第三者評価結果資料を使ってルーム会で話し合っている。その結果を主任会で集約して第三者評価の資料を作成する等して組織的な取組みになるように努めている。</p> <p>今後は、評価結果の分析と内容の検討までを迅速に行う仕組み等の整備を望みたい。</p>		

9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>前回の課題である外部講師を招聘した性教育を計画する等、改善策の実施に向けた取組みに努め毎月開催している、新園舎ユニットケアルーム制等の今後についての委員会で、養育・支援の質の向上に向けて協議している。</p> <p>評価結果の課題に対する計画的な改善策の実施について、迅速に対応できる体制の整備を望みたい。</p>		

評価対象Ⅱ 施設の運営管理

Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>職務分掌表に施設長の役割と責任に関する記載があり、年度初めの全体処遇会議で職員に表明している。有事における施設長の役割・責任と不在時の権限委任については、災害時事業継続計画（BCP）で明文化し理解を図るように努めている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>施設長対象の諸会議や社会的養護を担う児童福祉施設長研修会及び施設運営に関連する書籍等を活用して、遵守すべき法令等や新しい情報・知識の収集及び研鑽に努めている。</p> <p>職員に対して、遵守すべき法令等について全体処遇会議で周知するように努めている。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>施設内の各種会議や研修会で、職員と共に養育・支援の質に関する課題を把握し、改善に向けた具体的な取組みを明示して指導力を発揮するように努めている。施設長自身も積極的に各種研修会に参加して専門性の向上に努めている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>地域小規模児童養護施設開設を見据えた職員配置や業務の効率等、経営の改善に向けた分析を行うように心がけている。施設内の各種会議に出席し、職員の意見聴取と施設長の考えを伝えることで意識の形成・共有化に努めている。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>職員は、新任・中堅・幹部の各層と男女比が適切なバランスで構成されている。各種加算職員を積極的に配置し、役割分担を明確にして円滑な運営に努めている。</p> <p>昨年度行われた職員配置基準改正にも迅速に対応し、小規模化・分散化を見据えた人材育成計画と人事管理体制の整備に向けた取組みに努めている。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>総合的に人事管理が行われており、理念・基本方針に基づく、期待される職員像等を明確にして、職員自らが将来の姿を描けるように努めている。今年度から週休2日制の導入と給与見直し等の処遇改善を実施している。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>働きやすい職場環境づくりに取り組んでおり、就労定着率が高い。</p> <p>新任職員を対象に、レポート作成や全国児童養護施設協議会が作成したシートを活用して自己評価を行い、就業状況や意向の把握に努めている。職員の福利厚生として健康診断や旅行・有志によるリレーマラソン大会出場等を企画し健康増進と親睦に努めている。</p> <p>今後は、さらに働きやすい職場づくりに向けて、職員等の悩み相談窓口の設置に向けて検討するなど新たな試みに期待したい。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>職員一人ひとりに対する目標設定の明記はないが、施設として期待する職員像を明確にしている。施設長は、職員全員を対象にした研修受講と資格取得一覧表を作成し、研修の受講機会の公平化に努めている。</p> <p>職員一人ひとりの能力開発に向けた、目標管理制度に関わる規程の策定を期待したい。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>法人及び施設内で策定された研修計画に基づき、職員全員を対象に実施するように努めている。</p>		

19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>新任職員の現場研修を適切に行うとともに、階層や職種別で計画された法人及び施設内研修や外部研修等への機会を職員全員に確保するように努めている。研修受講後の報告は、全体処遇会議で行われ情報の共有に努めている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の養育・支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>実習は積極的に受け入れている。社会福祉士資格取得と保育士資格取得のための実習担当者をそれぞれ選任し、養成校と連携して目的達成に向けた実習の提供に努めている。</p> <p>現在、実習依頼先大学と共同で研究している、専門性を高めた実習内容の構築に期待したい。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㉓・c
<p><コメント></p> <p>法人・施設の理念や基本方針及び財務状況等はホームページで公開し、保護者には学園通信「絆」に掲載して周知するように努めている。</p> <p>社会福祉法人改革で運営の透明性を確保する必要があるため、養育・支援の内容や事業計画、事業報告等も法人と協議し公開されることを期待したい。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・㉔・c
<p><コメント></p> <p>法人の経理規程で、事務・経理・職務分掌・権限・責任等が明確に示され、職員に周知されている。</p> <p>外部監査活用の検討を期待したい。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉕・b・c
<p><コメント></p> <p>地域交流行事への参加や老人施設訪問及び施設主催行事への招待等を通して、積極的に交流を広げる取組を行っている。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>ボランティア活動の手引きを策定している。事前説明と行事への招待等の交流を通して、施設や子どもの実情の理解を図った上で計画的な受け入れに努めている。ホームページにボランティア募集の記事を掲載したところ、予想以上の反響があり受け入れの調整に努めている。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>地域の関係機関や団体等の社会資源のリスト化が図られている。市要保護児童対策地域協議会実務者会議構成員として会議に出席し、地域の関係機関や団体との共通の課題解決に向けて取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 施設が有する機能を地域に還元している。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>施設主催行事への地域住民の招待を通して、施設と子どもの理解が深まる機会になるように努めている。災害発生時には、地元被災者の受け入れ計画が、災害時事業継続計画に策定されている。</p> <p>今後の取組みとして、施設が有している養育機関としての専門性や施設機能を還元するよう期待したい。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>地域主催の各種連絡会等に出席し、関係機関と連携を深め情報交換を行うように努めている。把握した福祉ニーズに基づいた具体的な事業や活動は、事業計画に盛り込まれている。地域の福祉ニーズに基づいた子育て相談や講演活動等の取組みに期待したい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施

Ⅲ-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>アンケート調査を実施し、子どもの心情を理解した上で養育・支援のあり方を見直すように努めている。毎月、ケア内容チェック表を作成することで、職員各自の養育・支援を振り返る機会としている。職員全員のチェック表を集計して研修等で活用するように努めている。</p>		

29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した養育・支援の実施が行われている。	㉑・b・c
<p><コメント> プライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。虐待防止等の規程やマニュアル等を整備し、職員も理解した上で、子どもとの信頼関係を構築するように努めている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	㉑・b・c
<p><コメント> 施設見学を受け入れ支援選択に必要な情報の提供に努めている。入所時には、資料を配布して理念・基本方針・生活内容等の詳細な情報を提供するように努めている。ホームページと施設要覧も整備されている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p><コメント> 養育・支援の開始にあたり、入所時配布の資料を使って子どもと保護者にわかりやすく説明するように努めている。養育・支援の過程においては、必要に応じて電話・面会・保護者会・進路相談会等の機会を利用して丁寧に説明するように努めている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a・㉑・c
<p><コメント> 養育・支援の内容変更や他の施設等に移行する際は、子どもの不利益が生じないように配慮して必要な情報を提供するように努めている。退所後の子どもの動向については、関係機関からの情報や担当者の電話・家庭訪問等の支援により確認し、その情報は全体処遇会議で報告して共有するように努めている。 今後は、保護者にわかりやすく説明できるよう工夫した資料の準備を期待したい。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㉑・c
<p><コメント> 小・中・高校生会や児童自治会で発信された子どもの意見・要望や生活アンケート調査結果を検証することで支援内容の見直し・改善を図るように努めている。 定期的なアンケート調査を実施して子どもの満足度がさらに向上することを望みたい。</p>		
Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㉑・c
<p><コメント> 苦情解決の仕組みは確立しており、子どもと保護者に周知している。園長ポストを設置し子どもや保護者が苦情を申し出やすくなるように努めている。 苦情解決に関する子どもの認識度は低いので理解を深めるためのさらなる工夫を望みたい。</p>		

35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>小・中・高校生会や児童自治会で自由に意見が言える雰囲気づくりに努めている。日頃から子どもの様子を観察し、絵画・詩歌作品の内容や変化等から気持ちを汲み取る等して、子どもが相談しやすくなる人間関係づくりに努めている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>小・中・高校生会や児童自治会と園長ポストへの投函等による意見・要望への対応は、引継ぎ会・職員会や全体処遇会議の議題に取り上げて対応するように努めている。子どもの意見等は育成報告記録等に記載するように努めている。</p> <p>子どもからの意見や要望に迅速に対応するマニュアル等の策定を望みたい。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取り組みが行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>ヒヤリハット・事故報告書を作成後、全体処遇会議で検証結果を報告し再発防止等に向けた啓発に努めている。毎月実施の安全管理点検で見つけた破損・危険箇所・設備の不備等は、迅速に修理補修を行うように努めている。</p> <p>職務分掌表にリスクマネジメントに関する責任者の明記を期待したい。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>感染症マニュアルを策定している。看護師指導による施設内研修会を開催し職員への周知に努めている。予防対策として日頃から、うがい・手洗いの励行に努めている。</p> <p>インフルエンザ等の発症時には、看護師が迅速かつ適切に対応し感染の拡大を最小限に食い止めるように努めている。</p> <p>ノロウイルス対策としてエプロン・マスク・消毒液等の対応キットを各ルームに備えている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
<p><コメント></p> <p>災害時事業継続計画を策定し、職員への周知を図るとともに施設独自の訓練を実施して不測の事態に備えるように努めている。ラウンジには災害時の避難マニュアルを掲示し子どもへの意識の啓発にも努めている。防災倉庫を建て食糧備蓄も計画的に行われている。</p> <p>地域の防災訓練に参加しているが、地元消防団等関係機関とも連携を深め、体制を整えた防災訓練を行う等の取組を期待したい。</p>		

Ⅲ-2 養育・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>年間指導計画で策定された指導6領域の指導方針・指導概要・留意点をもとに1日の流れに沿って養育・支援が行われている。</p> <p>さらに、内容充実を図るため各種マニュアルを整備するよう、取組みに期待したい。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>毎年、主任会や各ルーム会で話し合っ日課（1日の流れ）の見直しを行うように努めている。</p> <p>小規模・地域分散化が進むと職員が単独で勤務することが想定されるため、標準的な実施方法を確立し、見直しをする仕組みの構築に向けた取組みを望みたい。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>自立支援計画策定の責任者を配置し、子どもと保護者の意向を把握・反映している。策定した自立支援計画は児童相談所に送付し情報共有に努めている。</p> <p>今後も、基幹的職員・ルーム職員・家庭支援相談専門員・心理担当職員等が参加し、手順に沿って協議・策定するようさらなる取組みに期待したい。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>定められた手順に従って半年ごとに見直しが行われ、変更・追加された内容は職員全員に周知するとともに児童相談所にも送付するよう努めている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>日々の育成記録等はパソコンで作成されている。その情報はネットワークシステムで他ルームとも繋がり、職員全員で共有するよう努めている。印刷した記録等は2階の宿直室に一括保管されいつでも閲覧できる。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>個人情報管理規程（個人情報保護）と個人情報管理規則（情報開示）を策定している。職員にも周知する等して管理体制の確立に努めている。</p> <p>パソコンのデータ管理は、ネットワーク接続を園内に限定するとともに、USB・書類等の保管場所は施錠する等して外部への情報漏洩防止に努めている。</p>		

内容評価基準（41 項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な養育・支援の実施」の付加項目

A-1 子ども本位の養育・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		
A①	A-1-(1)-① 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の養育・支援において実践している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>子どものアンケート調査やケア内容チェック表の結果について、ルーム会や全体処遇会議等で話し合い、最善の利益を目指した養育・支援になるように努めている。集計結果は理事会に報告し情報の共有に努めている。</p>		
A②	A-1-(1)-② 子どもの発達段階に応じて、子ども自身の出生や生い立ち、家族の状況について、子どもに適切に知らせている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>卒業の時期を目安に、児童相談所と連携して子どもの状況と保護者の意向を確認しながら慎重に事実を伝えるように努めている。</p>		
A-1-(2) 権利についての説明		
A③	A-1-(2)-① 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう、わかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>基本方針に子どもの権利擁護に努めることが謳われていることを職員全員が認識している。入所時や小・中・高校生会の機会を通して、年齢に応じた言葉で権利ノートの内容や権利と義務についてわかりやすく説明するように努めている。</p>		
A-1-(3) 他者の尊重		
A④	A-1-(3)-① 様々な生活体験や多くの人たちとのふれあいを通して、他者への心づかいや他者の立場に配慮する心が育まれるよう支援している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもが在園する時間帯の勤務職員を多くして、触れ合える時間を確保するように努めている。弱い立場の仲間を思いやる心を育てるために、居室構成は年齢や能力等を考慮して配置するように努めている。</p> <p>老人施設との定例交流行事を設け年長者を敬う気持ちの育成にも努めている。</p>		
A-1-(4) 被措置児童等虐待対応		
A⑤	A-1-(4)-① いかなる場合においても体罰や子どもの人格を辱めるような行為を行わないよう徹底している。	㉑・-・c
<p><コメント></p> <p>職員就業規則の策定と具体的な禁止行為を示した誓約書の提出等により、厳正に処分する仕組みが整備されている。各種研修会にも積極的に参加して意識の啓発に努めている。ケア内容チェック表の集計結果を活用して、全体処遇会議で振り返るように努めている。</p>		

A⑥	A-1-(4)-② 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>職員就業規則と施設内虐待防止マニュアルを策定し、研修等で意識の啓発に努めている。</p> <p>園長ポストに投函された内容や、毎月実施する職員によるケア内容チェック表の集計結果を周知する仕組みを通して防止と早期発見に努めている。</p> <p>小規模化・地域分散化が進み本体施設から分離されると単独職員による勤務が予想されるので早急な対策の検討を望みたい。</p>		
A⑦	A-1-(4)-③ 被措置児童等虐待の届出・通告に対する対応を整備し、迅速かつ誠実に対応している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>策定された施設内虐待対応マニュアルに、届出・通告制度と届出者・通告者に不利益が及ばない仕組み等の記載がある。</p> <p>今後は、子どもへの説明や資料等の配布方法の工夫が望まれる。</p>		
A-1-(5) 思想や信教の自由の保障		
A⑧	A-1-(5)-① 子どもや保護者等の思想や信教の自由を保障するように努めている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>入所時の配布資料で、宗教活動を強制しないことと他の子どもや職員への勧誘等の禁止について周知し信教の自由を保障するように努めている。</p>		
A-1-(6) 子どもの意向や主体性への配慮		
A⑨	A-1-(6)-① 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、そこから分離されることに伴う不安を理解し受けとめ不安の解消を図るように努めている。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>児童相談所と連携して、希望や必要に応じて施設見学や面談等を行い、子どもの不安を解消している。また、施設全体で温かく迎え入れの準備をするように努めている。</p>		
A⑩	A-1-(6)-② 職員と子どもが共生の意識を持ち、子どもの意向を尊重しながら生活全般について共に考え、生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。	a ・b・c
<p><コメント></p> <p>小・中・高校生会や児童自治会の要望と子どもアンケート調査結果について、ユニット委員会で協議する等、子どもと職員が共に考えてルール変更等の生活改善に努めている。</p>		

A-1-(7) 主体性、自律性を尊重した日常生活		
A⑪	A-1-(7)-① 日々の暮らしや、余暇の過ごし方など健全な生活のあり方について、子ども自身が主体的に考え生活できるよう支援している。	a・ ㉒ ・c
<p><コメント></p> <p>子どもの希望を尊重して余暇の過ごし方を決めるように努めている。ゲーム機の使い方等は、約束事の範囲内で子ども自身が考えて遊べるように努めている。部活動や通塾等の希望にも応じている。行事等は、小・中・高校生会等の意見を聞き自主的な活動になるように努めている。</p> <p>アンケートの回答の中に、行事・スポーツ活動への参加より部活動・学校生活優先と事前に確認して欲しいとの希望があるので、施設としての必要性和子どもの希望尊重とのバランスに配慮した対応に期待したい。</p>		
A⑫	A-1-(7)-② 子どもの発達段階に応じて、金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	a・ ㉒ ・c
<p><コメント></p> <p>職員同伴の買い物時に、小遣いの計画的な使い方や小遣い帳への記帳を通して金銭管理体験に努めている。高校生は自己管理とし、計画的に使用する機会としている。</p> <p>高校生等による親子生活訓練室を活用した自立訓練時に、食材購入や生活費等の金銭出納を含む計画の実施に期待したい。</p>		
A-1-(8) 継続性とアフターケア		
A⑬	A-1-(8)-① 家庭復帰にあたって、子どもが家庭で安定した生活を送ることができるよう復帰後の支援を行っている。	㉑ ・b・c
<p><コメント></p> <p>児童相談所・関係機関等と連携して子どもと保護者の意向を尊重した家庭復帰を検討している。</p> <p>退所後1年間のアフターケアを実施し状況の把握に努めている。特に、退学・離職率の高い退所後の3か月は、安定した家庭生活に向けた支援の強化期間と位置づけ、積極的に電話や家庭訪問を行い激励等に努めている。</p>		
A⑭	A-1-(8)-② できる限り公平な社会へのスタートが切れるように、措置継続や措置延長を積極的に利用して継続して支援している。	㉑ ・b・c
<p><コメント></p> <p>近年、措置継続や措置延長等を必要とする対象者はいないが、希望があれば支援できることを進路懇談会で子どもと保護者に伝えている。就労支援にも対応するように努めている。</p>		
A⑮	A-1-(8)-③ 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	㉑ ・b・c
<p><コメント></p> <p>リービングケアの一環として、退所1年前から「ひとりだちのハンドブック」を活用して、想定されるトラブルに対応できるように努めている。</p> <p>退所した子どもからの相談にも適切に対応し、情報は記録して職員全員で共有するように努めている。</p>		

A-2 養育・支援の質の確保

A-2-(1) 養育・支援の基本		
A⑯	A-2-(1)-① 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしつかり受け止めている。	a・ ⑬ ・c
<p><コメント></p> <p>日々の生活での観察や創作創造教育の一環で制作した絵画・詩歌の作品を通して子どもを理解し、表出できない心の声や悩みに寄り添えるように努めている。</p> <p>定期的なアンケート調査を実施することで、さらに子どもを理解するよう取組みに期待したい。</p>		
A⑰	A-2-(1)-② 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	⑬ ・b・c
<p><コメント></p> <p>小集団化や子どもが在園する時間帯の勤務職員を増やす工夫をして触れ合いの機会を確保するとともに、柔軟に子どもの要望に対応して基本的な欲求を充足するように努めている。</p>		
A⑱	A-2-(1)-③ 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	⑬ ・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもの小集団化と固定化した職員配置により、相互の信頼関係は深まっている。穏やかな日常生活が保障されたことで、職員が余裕を持って子どもに寄り添い、見守る支援に努めている。</p> <p>その結果、職員は子どもの力を信じ、見守りの姿勢による生活支援が可能となり、子ども自ら配膳を手伝う等の自主性が育っている。</p>		
A⑲	A-2-(1)-④ 発達段階に応じた学びや遊びの場を保障している。	⑬ ・b・c
<p><コメント></p> <p>幼稚園・小・中・高等学校及び特別支援学校等への通園・通学を支援することで、個々の実情に応じた教育の機会を保障するように努めている。希望者には通塾やボランティアによる学習活動への参加も支援し、学力向上の推進に努めている。</p>		
A⑳	A-2-(1)-⑤ 秩序ある生活を通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	⑬ ・b・c
<p><コメント></p> <p>礼儀正しい挨拶や穏やかな会話と笑顔あふれる様子から、家庭的な温かみのある雰囲気を感じた。</p> <p>また、居室の整頓状況や洗濯物の干し方等の様子からも、基本的な生活習慣の確立や社会常識等に関する養育・支援がなされていることがうかがえた。</p>		

A-2-(2) 食生活		
A⑳	A-2-(2)-① 食事は、団らんの場でもあり、おいしく楽しみながら食事ができるよう工夫している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>ルームごとで会食ができ、明るく清潔な環境が確保されている。子どもと職員が家族的な雰囲気の中で和気あいあいと配膳準備や食事を楽しんでいる様子が確認できた。刺身や生卵等の生ものの食材提供ができないという施設としての制約があるので、外食等の機会に寿司等を楽しめるように配慮されている。</p>		
A㉑	A-2-(2)-② 子どもの嗜好や健康状態に配慮した食事を提供している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>誕生日メニューの希望や定期的な嗜好アンケート調査を実施している。その結果を参考にして調理連絡会で協議し、栄養のバランスと子どもの意向を考慮した献立の作成に努めている。</p> <p>体調不良やアレルギーのある子どもには、栄養士・調理師・職員が連携して状況に適した食事の提供に努めている。</p>		
A㉒	A-2-(2)-③ 子どもの発達段階に応じて食習慣を身につけることができるよう食育を推進している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>職員が食事を共にしてマナーや偏食等の指導を行うように努めている。調理員は子どもの喫食状況を確認している。</p> <p>栄養士は、四季折々の行事食を提供するよう努めるとともに、献立表に料理に関する解説を付け加える等して食育の推進に努めている。</p>		
A-2-(3) 衣生活		
A㉓	A-2-(3)-① 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>一人ひとりにクローゼットと衣類タンス等が確保され、自分で衣替えや衣類の整理整頓ができるように努めている。</p> <p>職員同伴で外出し子どもの好みを尊重するとともに、季節やTPOに合わせた衣類の購入体験ができるように努めている。</p>		
A-2-(4) 住生活		
A㉔	A-2-(4)-① 居室等施設全体がきれいに整美されている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>新しい居住空間で、整頓・清掃も行き届いている。園庭の清掃や花壇等の植栽の手入れも適切にされている。破損箇所があれば迅速な修理・修繕に努めている。</p>		

A②⑥	A-2-(4)-② 子ども一人ひとりの居場所が確保され、安全、安心を感じる場所となるようにしている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>ユニットケアと小規模グループケアによる小集団での生活空間の確保に努めている。2人部屋を基本としているが、将来的には個室化を計画している。年少児や配慮を要する子どもの居室は、職員の目が届きやすいところに配置するように配慮されている。</p>		
A-2-(5) 健康と安全		
A②⑦	A-2-(5)-① 発達段階に応じ、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>自己管理ができるように、それぞれの発達段階に応じた支援に心がけるとともに、健康状態の把握にも努めている。登下校の付き添いや見守りを通して、交通安全指導と安全確保に努めている。</p>		
A②⑧	A-2-(5)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>看護師を配置し健康及び薬品管理・通院・投薬等、必要に応じた適切な対応に努めている。</p>		
A-2-(6) 性に関する教育		
A②⑨	A-2-(6)-① 子どもの年齢・発達段階に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>職員は、性教育に関する研修を受講し、日常生活の中で正しく理解できるように努めている。前回の評価調査時には、本館建替えのため開催できなかった外部講師を招聘した性教育講座が事業計画に含まれている。</p> <p>年齢や発達段階に応じたカリキュラム作成の取組みに期待したい。</p>		
A-2-(7) 自己領域の確保		
A③⑩	A-2-(7)-① でき得る限り他児との共有の物をなくし、個人所有とするようにしている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>子どもの好みを考慮して個人の所有を保障するように努めている。一人ひとりに所有物の保管収納場所が用意されている。</p>		
A③⑪	A-2-(7)-② 成長の記録（アルバム等）が整理され、成長の過程を振り返ることができるようにしている。	a・㉑・c
<p><コメント></p> <p>前回の評価受審後に個人アルバム等の記録を整理したが、入所前の写真入手に困難をきたすケースもあり、全員に対する完全なアルバムの整備には至っていない。</p>		

A-2-(8) 行動上の問題及び問題状況への対応		
A⑳	A-2-(8)-① 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>特性のある子どもは、児童相談所や医療機関と連携して個別に対応するように心がけている。状況を超えた問題の発生時には、担当枠を超えた施設全体の支援体制で対応するように努めている。</p>		
A㉑	A-2-(8)-② 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>他者への思いやりの育成と子どもとの信頼関係の構築に努めている。暴力等の発生が懸念される死角となる場所等の把握・掌握をすることで発生防止に努めている。職員全員が統一した支援を行えるように、子ども間の行動観察や把握に努めている。</p>		
A㉒	A-2-(8)-③ 虐待を受けた子ども等、保護者等からの強引な引き取りの可能性がある場合、子どもの安全が確保されるよう努めている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>不法侵入時及び保護者等の強引な引き取りの対応の手順に沿って対応するように努めている。職員間の情報の共有や警察への協力要請と、児童相談所との連携を通して対応するように努めている。</p>		
A-2-(9) 心理的ケア		
A㉓	A-2-(9)-① 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a・㉔・c
<p><コメント></p> <p>心理担当職員を配置して、面談や指導職員・医療機関等と連携した心理的支援に努めている。</p> <p>性暴力・被虐待に関するプログラム等の検討に期待したい。</p>		
A-2-(10) 学習・進学支援、進路支援等		
A㉔	A-2-(10)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>希望者には、通塾や地元公共団体の支援プログラム・ボランティアによる学習支援等を活用して学力の向上に努めている。</p> <p>進学を控えた高校生には個室を用意して、就寝後の他の子ども達に気兼ねすることなく学習できるように配慮している。</p>		
A㉕	A-2-(10)-② 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>施設内で進路懇談会を開催している。学校や児童相談所と情報交換を行い、自己決定時の判断材料確保と奨学金等の経済的支援策、進路先での不適応後の支援体制づくりに努めている。</p>		

A⑳	A-2-(10)-③ 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	㉑・b・c
<p><コメント></p> <p>高校の許可を取り、アルバイト体験や職場実習をさせて勤労を通じた社会の仕組み・ルール・金銭管理等を学べるように努めている。</p> <p>英語検定・漢字検定・危険物取扱・重機・普通自動車運転免許等の資格取得も奨励している。</p>		
A-2-(11) 施設と家族との信頼関係づくり		
A㉑	A-2-(11)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>2名の家庭支援専門相談員を配置し、担当職員と協力して相談に応じる体制と役割分担を確立している。電話・面会や学園通信等を通して家族との信頼関係の構築に努めている。</p> <p>問題や悩みを抱えた家族に対し、児童相談所等と連携した迅速な対応に期待したい。</p>		
A-2-(12) 親子関係の再構築支援		
A㉒	A-2-(12)-① 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>家庭支援相談専門員・担当職員・心理士等が協力して親子関係の構築に対応するように努めている。児童相談所や関係機関とも連携するように努めている。</p> <p>親子生活訓練室等を活用した支援に期待したい。</p>		
A-2-(13) スーパービジョン体制		
A㉓	A-2-(13)-① スーパービジョンの体制を確立し、施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a・㉒・c
<p><コメント></p> <p>基幹的職員による新任職員への現場研修の実施や、ルーム責任者の基幹的職員研修受講等スーパービジョンの体制は整えられつつあるが、十分に機能を発揮しているとはいえない。</p> <p>小規模化・地域分散化で単独での勤務形態になることも想定されるので、スーパービジョン体制の確立に向けたさらなる取組みに期待したい。</p>		